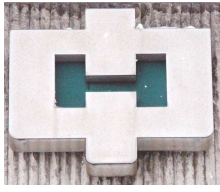


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成30年 2月16日(金) 第24号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

畑野ミニ美術展やってます～冬の展覧会～

美術室の一面に美術館のように全校生徒の美術作品が展示されています。文化祭に展示した作品ではなく、その後美術の授業で創った作品です。美術の船山先生にお聞きしましたら、「創った作品は飾らないんですか？」の3年生の一言がきっかけで、個性溢れる作品を鑑賞してほしい、他学年にも見てほしい、と思い展示することを決めたそうです。

今年度は各学年様々な美術作品を創っており、生徒が大好きな美術になっています。今回、1年生は『表札の彫刻』、2年生は『ねんどによる立体(塑像)』、3年生は『コラージュ』と『切り絵』を展示しています。生徒は既に次の作品作りに入っており、船山先生の指導に感謝です。

文化祭以上に楽しめる作品展になっています。教室廊下には国語の授業で書いた『書き初め』も展示しています。23日(金)の授業参観時や3年生を送る会、PTA総会前後も美術室は開放しておきますので、お子さんや他の生徒の輝く作品をご覧ください。冬の展覧会はいかがですか。



見てほしくなる作品作り

美術担当 船山 美歩

畑野中学校に来て、もうすぐ1年になります。授業中、時には質問が飛び交って賑やかになったり、時には黙々と制作に取り組んだり、子どもたちは毎回の授業をとっても熱心に取り組んでいます。豊かな発想力や個性溢れるセンスの光る作品には、毎回本当に驚かされます。

美術には、正解がありません。それぞれに様々なゴールがある教科です。自分の目標をしっかりとって活動に取り組み、友達の個性やよさを認め合い、様々な価値観に触れてほしいと思っています。中学校の美術で、自己表現するやりがいや楽しさをたくさん味わって、みんなに見てほしくなるような作品作りをしていきましょう。

1年生 『オリジナル表札』

材木(ヒノキ・ケヤキ・イチイなど)に名前を彫刻。1学期に学んだレタリングを駆使した。彫刻刀・やすり・ノコギリなどの道具を用いて、丁寧に仕上げた。

2年生 『時間よ止まれ! 瞬間のポーズ』

自分が今までに体験・経験したもので、心引かれる瞬間(普段の生活・部活動・夢の中など)の感動を、生き生きとした人物の形で表現した。

3年生 『私の世界』

コラージュ(素材をのりで貼る)という技法を用いて制作した。それぞれが好きなもの・心引かれるものを集めた作品は、どれも個性溢れる世界となった。



「食の指導」 ～受験期の栄養と食事を学ぶ（3年）～

健康教育の一環として、「食の指導」を各学年年1回、佐渡市国仲給食センターの渡邊理沙栄養教諭を講師にお招きして実施しています。6日（火）には、3年生が「受験期の栄養と食事」について学びました。Aさんの生活習慣の具体例から、問題点と改善策を考え、班でも話し合いました。受験を控えて、生活習慣を見直し、受験期に必要な栄養等についてためになるお話をいただきました。3年生だけでなく、1・2年生にも参考になる内容ですので紹介します。

受験期の食事のポイント

- ① 朝食は必ず食べる⇒生活リズムを整える（1日の生活にも影響します）
- ② よく噛んで食べる⇒脳に刺激を与える
- ③ 受験に必要な栄養をとる⇒カルシウム・タンパク質・炭水化物・鉄・ビタミン
- ④ 夜食はなるべく食べない⇒食べるなら消化のよいものを

その後、渡邊先生と一緒に給食を食べました。断水後、通常給食にようやく戻り、生徒たちは「やっぱり給食がいい」「（給食が）美味しい」「うれしい」と漏らしていました。改めて給食の有り難みを感じさせてくれた断水でした。「ごちそうさまでした」の言葉にも感謝の気持ちがこもっていたことでしょう。

給食後、全校生徒を代表して給食委員会が渡邊先生を始め給食センターの皆さんに「感謝状」と感謝メッセージを贈りました。その時の渡邊先生の笑顔がとても印象的でした。



食事と生活リズムの関係 本間

食事や生活リズムで学力に影響があるので、好き嫌いをせず、バランスのよい食事をして、早く寝て、早く起きるように心掛けたいです。少しでも生活リズムをよくしたいです。

生活を見直してみよう 深井

改めて自分の生活リズムや食生活などを見直しましたが、野菜が少なく、そしてあまり噛まずに食べる、起きる時刻が遅めなどなど、課題が見えてきました。生活リズムを崩せないのも、一気に変えることは難しいですが、少しずつ直していきたいです。

避難訓練 ～頭を守り、静かに素早く行動～

地震・津波を想定した避難訓練を9日（金）に実施しました。今年度最後の避難訓練でしたが、今回も生徒は真剣に取り組みました。指導にお越しいただいた佐渡市中央消防署の坂下様からも「とても素晴らしいですね。行動も聴く態度も立派で感心しました。」と褒めていただきました。

緊急放送後、頭を教科書や手で覆いながら、静かに体育館に一次避難しました。さらに、津波警報が発令された想定で、校舎3階に二次避難しました。一次避難で注意されたことをすぐに意識し、よりよい避難ができました。先生方が避難状況を確認している間も、私語せず静かに待つ姿はさすがでした。

先生方に言われたからするというより、校外や旅行先、いろいろな所で災害に遭うことも考えて、こんな時「先を想像して、どうすればよいかを判断し、素早く行動を取れるようになってほしい」と伝えました。頭を守り、防寒着を用意するなど、どこに注意すればよいかを自分なりに考えることも大事な訓練です。

どのような行動を取ればよいか、早く判断をすることができなかつたので、早く判断して行動に移したいです。
（1年 鳥井）

私語せず、きちんとやれました。教科書などがなかつたので、すぐ手で頭を守れて良かったです。
（1年 林）

今回は頭を守ることをしっかり意識してできました。また、すぐ整列することもできました。音楽室だったので机はなかつたけれど、分厚い物で守れました。移動の時、私語はなかつたけれど、少し遅くなってしまったので、もっと速やかに動きたいです。
（2年 猪股）

地震や津波の後のことを考えていなかったの、実際に起きた時に、できればコートなどの防寒着を持って避難したいです。
（2年 中川）

最後の避難訓練で、今までよりもちゃんとできたのでよかったです。これからは周りを気にしながら生活し、自分で判断できることは自分で判断して逃げたいです。全校のみんながちゃんとできていてよかったです。
（3年 池田）

「気付く力」や常に最善を尽くすことがとても大事だということを改めて感じました。大きな災害が起きた時は、普通の人はぼう然としてしまうと消防士の坂下さんはおっしゃっていましたが、自分は率先して避難する人でいたいと思いました。
（3年 中村）

